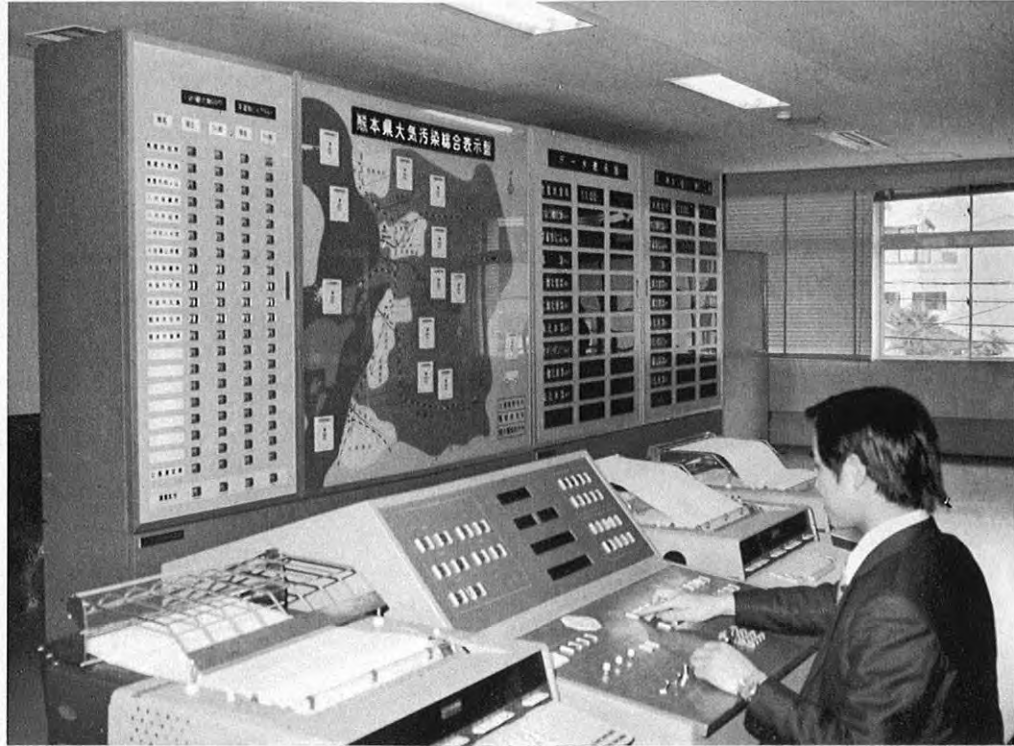


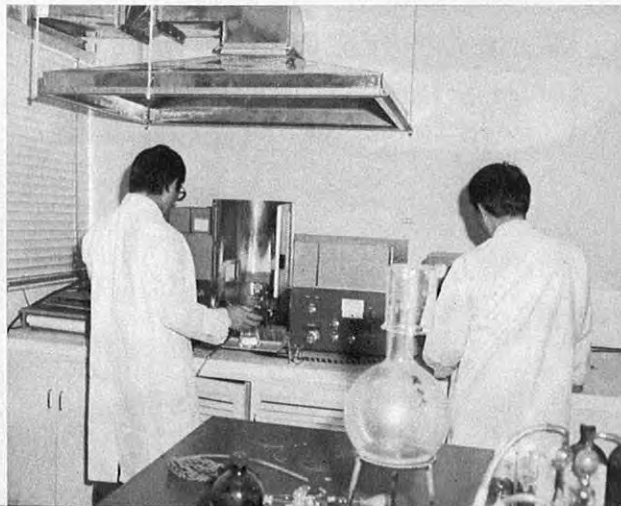
# 新設橋竣工2題



▲県下の大気汚染の状況が瞬時にわかる大気汚染常時監視テレメーター・システム

県内十三ヶ所の大気汚染の状況が一目でわかる熊本県大気汚染常時監視テレメーターシステムが新装の衛生公害研究所別館二階にこのほど完成。荒尾市三ヶ所、八代市三ヶ所、水俣市三ヶ所、熊本市二ヶ所及び小田浦の固定観測局や公害測定車の移動観測局からイオウ酸化物、浮遊粉じん、チオソキシタン、一酸化炭素、風向き、風速のデータが一時間単位で中央監視局に送られ、タイプライターとデジタル表示盤に示されます。今後はこれで、公害規制に威力を発揮します。

▼新装なった衛生公害研究所別館



▼各種公害の実験室

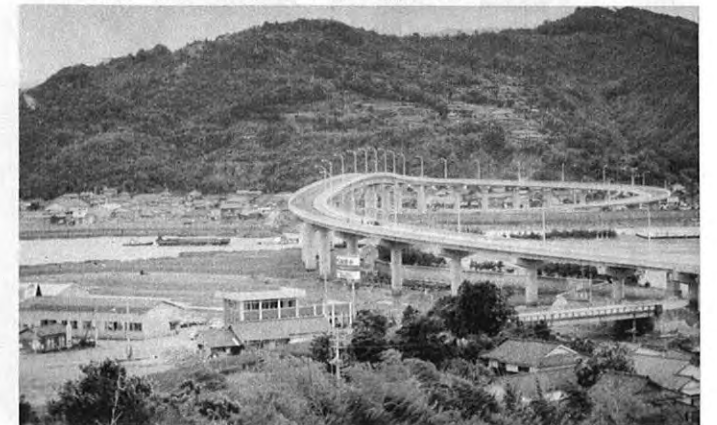


▲交通止めの心配がなくなった新萩原橋

天草は本渡市の上島と下島を結ぶ天草瀬戸大橋が五月二十九日に、八代市萩原と豊原を結ぶ新萩原橋が六月四日にめでたく竣工しました。天草瀬戸大橋は、旧開閉橋が老朽化し、故障が続出するため百メートル余りの瀬戸に満潮時の水面から十七メートルの高さに架設され、五百トン級の船がゆっくり通れるように、四十七年五月に十億円の前算で着工され、二年がかりで完成をみました。橋長七百二・五メートル、幅員は、車道、自動車道、歩行者道合わせて九・五メートル。新萩原橋は、旧萩原橋の左岸側取付道が五百メートルにわたって河川敷にあるため、出水時にはいつも交通止めの状態でした。これを解消するため架設されたものです。球磨川をひとまたぎする全長六百五十七・三メートル、幅十一・五メートルで下流側には幅一・七五メートルの自転車・歩道兼用道が設けられ、四十六年度以来三カ年で総工費十四億円が投じられました。



▼常時、船舶が航行できる天草瀬戸大橋



県下の公害ににらみ、大気汚染常時監視テレメーター完成